



平成30年12月7日  
中部経済産業局

## 中部の「地域産業資源活用事業計画」

### 平成30年度第3回認定について

中部経済産業局では、平成19年6月に施行された「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律（中小企業地域資源活用促進法）」に基づき、平成30年度第3回の認定として、「地域産業資源活用事業計画」4件の認定を行いました。

1. 本事業は、中小企業者が、産地の技術、農林水産品、観光資源といった地域の特徴ある産業資源を活用して、商品、サービスの開発や需要の開拓を目指す取組を支援しており、平成30年度第3回として地域産業資源活用事業計画を4件認定しました。（認定計画の概要は別紙のとおり）
2. 中部経済産業局では、平成30年8月までに340件の事業計画を認定しており、今回の認定により法施行後の当局認定件数は344件となります。
3. 認定案件については、（独）中小企業基盤整備機構中部本部または北陸本部の専門家等により、事業化までのフォローアップが実施されます。
4. 事業計画の認定を受けた事業者は、事業計画に基づく試作品開発や販路開拓に対する補助金、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、中小企業投資育成株式会社の特例、専門家によるアドバイス等の各種支援施策を受けることが可能となります。

（お問い合わせ先）

中部経済産業局 産業部 経営支援課長 加藤

担 当：田中

電 話：052-951-0521（直通）

FAX：052-951-9800

平成30年度 第3回地域産業資源活用事業計画認定事業一覧

(別紙)

番号	事業者名	地域名	法人番号	本事業商品写真	事業テーマ	事業概要
1	株式会社こみんぐる	石川県 金沢市	8220001022105	 金澤町家の外観	地域産業資源「金澤町家」の特性を活かしたインバウンド向けの体験型宿泊等サービス提供事業	地域産業資源「金澤町家」は、城下町金沢の歴史的資源として、町の文化的景観を形成する重要な要素となる特徴を有する建造物である。また、内装は武家文化を醸し出す朱色や群青色の塗壁等が残っている。それらの室内空間を活かしつつ、町家をリフォームし1日1組貸しのプライベート宿泊施設として、和の文化や生活様式に関心が高いインバウンドを中心とした、体験型宿泊等サービスを提供する。武家文化漂う町家宿泊に加え、茶道、書道、柔道、着物体験等の日本文化体験アクティビティ、地域住民との国際交流の場を提供する等でインバウンドの満足度を高め、金沢観光のリピーター創出に繋がる感動体験サービスを提供する。
	【活用する地域資源】 金澤町家					
2	有限会社畑漆器店	石川県 加賀市	9220002013168	 col.ブランド商品	山中漆器の生産技術を活用したユニバーサル食器「col.ブランド」の開発・改良および販売事業	地域産業資源「山中漆器」の特徴である精緻な轆轤挽きや塗りの技術を活かして、白木に無臭ウレタン塗装を多層塗りにより施すことで、これまで課題となっていた木質木地へのウレタン塗装の悪臭を抑え、同時に多層塗りにより耐水性と耐久性を向上させ、併せて商品の安全性面・機能面を高めるバリアフリー食器の開発、生産、販路開拓に取り組む。具体的な取組として、子供用の食器から高齢者向け食器等へと「誰にでも使いやすく、安全な食器」というコンセプトによる商品アイテムの拡大を図り、ユニバーサル機能を付加した「col.ブランド」として市場のニーズに応える商品開発を図る。
	【活用する地域資源】 伝統的工芸品(山中漆器)					
3	株式会社エクシズ	岐阜県 多治見市 瑞浪市 土岐市 可児市	8200001020507	 原料となる溶融スラグ	美濃焼の技術を活用し、廃棄物である溶融スラグをリサイクル利用したタイル材の製造販売事業	地域産業資源「美濃焼」の生産に係る技術を活用し、生活ゴミなどの焼却施設で生成される溶融スラグを低温(約1150℃)での焼成工程が実現できたことで、タイルを生成するという従来なかったリサイクルの実現を果たした。その環境面での意義も含め、当地美濃焼技術のアピールにもなり、原料粘土自体の枯渇が懸念されている地域の他の陶磁器製造事業者などへの波及効果が期待される。
	【活用する地域資源】 美濃焼					
4	有限会社ヤマ亮横井製陶所	岐阜県 多治見市 瑞浪市 土岐市 可児市	2200002021823	 新スタイル酒器 LUCKY12	美濃焼の鑄込み技術を活用し、薄手均等厚の新酒器、神仏具シリーズ等の製造販売事業	地域産業資源「美濃焼」の生産に係る技術の特徴である鑄込み製法の中でも、石膏型に泥しよを流し込み、乾燥させてから余分な泥を捨て、さらに乾燥させて型から外す“ガバ鑄込み”技術等を活用し、機械で画一的に量産されるのではない、一つひとつに人の手が加わるライフスタイルに沿った酒器、神仏具の開発、生産、販路開拓に取り組む。地域の他の陶磁器製造事業者などへの波及効果が期待される。
	【活用する地域資源】 美濃焼					

3類型	観光資源	通巻番号	4-30-004
地域資源名	金澤町家	認定日	平成30年12月7日
地域	石川県金沢市	所管省庁	経済産業省、国土交通省

## 事業名：地域産業資源「金澤町家」の特性を活かした インバウンド向けの体験型宿泊等サービス提供事業

会社名：株式会社 こみんぐる  
 連絡先：TEL：076-205-8092  
 FAX：076-205-8092  
 法人番号：8220001022105

所在地：石川県金沢市小橋町2-17

HP：<https://comingle.net/>

### 事業概要(地域産業資源の活用)

地域産業資源「金澤町家」は、城下町金沢の歴史的資源として、町の文化的景観を形成する重要な要素となる特徴を有する建造物である。また、内装は武家文化を醸し出す朱色や群青色の塗壁等が残っている。それらの室内空間を活かしつつ、町家をリフォームし1日1組貸しのプライベート宿泊施設として、和の文化や生活様式に関心が高いインバウンドを中心とした、体験型宿泊等サービスを提供する。武家文化漂う町家宿泊に加え、茶道、書道、柔道、着物体験等の日本文化体験アクティビティ、地域住民との国際交流の場を提供する等でインバウンドの満足度を高め、金沢観光のリピーター創出に繋がる感動体験サービスを提供する。

### 新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

#### ◆市場性

金沢観光市場の需要は、北陸新幹線の開業などを背景として、東京や京都だけでなく、日本の地方都市観光にも興味を示し始めたインバウンドを中心にして、需要が伸びてきており、東京オリンピック・パラリンピック開催年まではインバウンドの訪日者数増加が期待できるため、本事業サービスの需要が高まると見込まれる。

#### ◆需要の開拓の方針

欧米・アジア地域を発地とするインバウンドをターゲットとし、これら海外に向けて、当社ホームページ、Facebookやインスタグラム等SNSと動画の作成・掲載等でPRし、新たな顧客需要の創出を行う。

#### ◆商品の特性

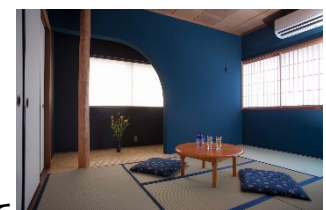
訪日外国人と邦人とのコミュニケーションニーズへの対応や、主としてインバウンドをターゲットとすることを踏まえ、インバウンド向けの通訳対応が出来るように、金沢大学と連携して取り組んでいるインバウンド向けガイドプロジェクト「Reach KANAZAWA」と連携し言葉の壁をなくす。

### 地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

訪日外国人により深く日本の文化や歴史を理解してもらうために、株式会社日本エージェンシーが金沢大学と連携して取り組んでいるプロジェクト「Reach KANAZAWA」と連携する。インバウンドの誘客に注力している県や金沢市からの支援を仰ぎつつ、地域を挙げて当地域の歴史、文化、伝統工芸、食の魅力発信に取り組んでいく。



【金澤町家の外観】



【宿泊施設の室内】



【金沢大学で柔道体験】

3類型	鋳工業品	通巻番号	4-30-005
地域資源名	伝統的工芸品(山中漆器)	認定日	平成30年12月7日
地域	石川県加賀市	所管省庁	経済産業省

**事業名: 山中漆器の生産技術を活用したユニバーサル食器  
「col.ブランド」の開発・改良および販売事業**

会社名: 有限会社 畑漆器店  
 連絡先: TEL: 0761-78-1149  
 FAX: 0761-78-1283  
 法人番号: 9220002013168

所在地: 石川県加賀市山中温泉上原町ヨ395  
 H P: <https://www.hatashikki.jp/>

**事業概要(地域産業資源の活用)**

地域産業資源「山中漆器」の特徴である精緻な轆轤挽きや塗りの技術を活かして、白木に無臭ウレタン塗装を多層塗りにより施すことで、これまで課題となっていた木質木地へのウレタン塗装の悪臭を抑え、同時に多層塗りにより耐水性と耐久性を向上させ、併せて商品の安全性面・機能面を高めるバリアフリー食器の開発、生産、販路開拓に取り組む。具体的な取組として、子供用の食器から高齢者向け食器等へと「誰にでも使いやすく、安全な食器」というコンセプトによる商品アイテムの拡大を図り、ユニバーサル機能を付加した「col.ブランド」として市場のニーズに応える商品開発を図る。

**新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)**

◆市場性

子供用食器市場では、少子化に伴い子供の安全・安心への保護者の意識の高まりを背景に、共働き夫婦という層や孫へのギフトを中心に需要が伸びるとされており、本事業の製品は食の安全及び環境配慮という観点からの訴求力も有ることから、開発する新商品の市場性は十分あると見込まれる。【伝統的な山中漆器】



◆需要の開拓の方針

主に20代後半から40代前半の女性を中心に「col.ブランド」商品のシリーズ化を図ると共に、ユニバーサルデザイン食器の開発・改良を進め、国内のみならず海外市場へも販路を展開して、自社ブランド商品の販売比率を高めていく。



【col.ブランド商品】

◆商品の特性

食器のニーズや、子供を持つ保護者等を販売ターゲットとすることを踏まえ、その需要に応えるよう安全・安心といった特性をもつ商品となっている。玩具をモチーフとしたデザイン性、「誰にでも使いやすく、安全な食器」等、実用性において、本事業の製品は、他の競合品、類似品と比べても競争力がある。

**地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携**

製品を市場に安定供給する生産力の観点から、地域の複数の木地師や塗装職人との連携体制を構築する。加賀市や中小機構、山中商工会等に支援を仰ぎつつ、地域を挙げて山中漆器のブランド化に取り組んでいく。また、外部デザイナーとも連携し、域外への販路支援、商品開発への助言に対する協力も得ていく。



【子供向け食器セット】



3類型	鉱工業品	通巻番号	4-30-006
地域資源名	美濃焼	認定日	平成30年12月7日
地域	多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市	所管省庁	経済産業省

**事業名:美濃焼の技術を活用し、廃棄物である溶融スラグをリサイクル利用した  
タイル材の製造販売事業**

会社名:株式会社エクシズ  
(法人番号:8200001020507)  
連絡先:TEL:0572-20-0711  
FAX:0572-20-0722

所在地:岐阜県多治見市旭ヶ丘10丁目6-55

H P: <https://www.x-s.jp/>

### 事業概要(地域産業資源の活用)

地域産業資源「美濃焼」の生産に係る技術を活用し、生活ゴミなどの焼却施設で生成される溶融スラグを低温(約1150℃)での焼成工程が実現できたことで、タイルを生成するという従来なかったリサイクルの実現を果たした。その環境面での意義も含め、当地美濃焼技術のアピールにもなり、原料粘土自体の枯渇が懸念されている地域の他の陶磁器製造事業者などへの波及効果が期待される。



【原料となる溶融スラグ】

### 新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

#### ◆市場性

本事業製品のターゲットは、当初は溶融スラグを生成する自治体、行政をターゲットとし、公共建築物への使用をアピールして販売を行う。その後、国内国外(アメリカ市場等)の一般市場に販路を広げるとともに、焼却プラントメーカーと連携し焼却施設の受注とセットで、溶融スラグの活用方法も提案し、自動的に原料を確保できるといった環境面での優位性をアピールすることで市場性が見込まれる。

#### ◆需要の開拓の方針

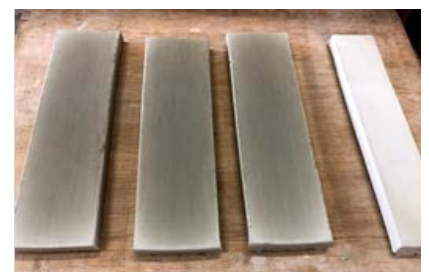
国内は溶融スラグを生成している行政に直接アピールし、設計に採用していただく。また、焼却施設を有している一般企業に対しても、自社で出したゴミを再生させるというCSR的な意味合いでの起用をPRする。海外は、すで取引のあるアメリカのディストリビューターを通じ、美濃焼リサイクル商品として輸出して販売を行う。

#### ◆商品の特性

本格里拉サイクル(生活ゴミの再利用といった意味で)タイルは存在しなく、優位なポジションを構築できると考えられる。

### 地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

多治見市が進めるふるさと名物応援宣言等と連携することで地域を代表するブランドとして地域を挙げて取り組んでいくとともに、地域事業者との協同製造も検討していく。



#### 【乾燥工程

ひび割れや反りが発生しやすい  
調合調整がポイント】



【当社製品が使用された  
多治見市内の施工現場】

3類型	鋳工業品	通巻番号	4-30-007
地域資源名	美濃焼	認定日	平成30年12月7日
地域	多治見市、瑞浪市、土岐市、 可児市	所管省庁	経済産業省

**事業名:美濃焼の鑄込み技術を活用し、薄手均等厚の新酒器、神仏具シリーズ等の製造販売事業**

会社名:有限会社ヤマ亮横井製陶所  
(法人番号:2200002021823)  
連絡先:TEL:0572-57-6718  
FAX:0572-57-6718

所在地:岐阜県土岐市下石町165番地の4  
H P: <https://www.yamaryo451.com/>

### 事業概要(地域産業資源の活用)

地域産業資源「美濃焼」の生産に係る技術の特徴である鑄込み製法の中でも、石膏型に泥しよを流し込み、乾燥させてから余分な泥を捨て、さらに乾燥させて型から外す“ガバ鑄込み”技術等を活用し、機械で画一的に量産されるのではない、一つひとつに人の手が加わるライフスタイルに沿った酒器、神仏具の開発、生産、販路開拓に取り組む。地域の他の陶磁器製造事業者などへの波及効果が期待される。

### 新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

#### ◆市場性

本事業製品のターゲットは、30代以降の家呑みを楽しむ層とし、性別を問わず、家族構成も限定しない。一人呑み、夫婦で、家族や友人を招いての小パーティなど、家中(イェナカ)消費をする際に、少しおしゃれに過ごしたいと考えている人をイメージしている。これらの層は、決して、酒器だけにこだわらず、家内のインテリアにもこだわりをもつ傾向が考えられ、モダン神仏具などもあわせて市場性が見込まれる。

#### ◆需要の開拓の方針

自社WEB(直販含む)部門を50%台にすることを目標に販路開拓を実施していく。卸取引は、従来の酒器販売先よりも、ライフスタイルショップ等新しい生活様式志向に強みをもつ販路先を開拓していくことで需要の開拓を行う。また、当社技術の自由度を活かしてOEM受注も目指す。

#### ◆商品の特性

常に「新しいもの」「変わったもの」「驚くもの」「感動するもの」「他に類のないもの」をコンセプトに、他の競合製品とは異なる機能性のある酒器等のポジションを構築できると考えられる。

### 地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

土岐市が進めるふるさと名物応援宣言等と連携することで地域を代表するブランドとして地域を挙げて取り組んでいく。



【新スタイル酒器 LUCKY12】



【ガバ鑄込み製法の流し込み工程】



【真空二重構造で保温保冷に優れている機能を持つ酒器 浮かぶ徳利 COGAMO】